

SPODフォーラム2022 プログラム(案)

資料1-1

全体テーマ:「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」

2022/5/23現在

会場		A	B	C	D	E
担当校		愛媛大学		徳島大学	香川大学	高知大学
1日目 8月24日(水)	9:30~11:30 120分	2401A 職員対象 愛媛 併用/定員40	2401B 教員対象 徳島 愛媛 併用/定員30	2401C 教員・職員対象 徳島 GW中心/40名	2401D 職員対象 香川 加盟校外 GW中心/40名	2401E 教員対象 高知 GW中心/70名
	12:30~14:30 120分	職員のための講師養成講座 一日業務の遂行に 活かすことも見据えてー [阿部 光伸・藤本 正己] 【愛媛大学】	FD担当者のためのFD企画講座 [吉田 博・仲道 雅輝・ 塩川 菜々美・上月 翔太] 【徳島大学・愛媛大学】	2402C 職員対象 加盟校内 併用/定員30 ケースで考える若手職員のための 学生支援・学生対応 [藤巻 晃] 【徳島文理大学】	2402D 教員・職員対象 香川 併用/定員40 実践! D&I(ダイバーシティ&イン クルージョン)推進 [黒澤 あずさ] 【香川大学】	2402E 教員対象 高知 併用/定員70 ルーブリック評価入門 ー考える、つくる、活用するー [俣野 秀典] 【高知大学】
	15:15~17:15 120分	2403A 教員・職員対象 加盟校内 加盟校外 GW中心/40名 面談に役立つ アカデミック・アドバイジングの 手法(基礎編) [清水 栄子・小林 忠資] 【追手門学院大学・岡山理科大学】	2403B 教員対象 愛媛 併用/定員40 支え促す体験学習 [高橋 平徳] 【愛媛大学】	2403C 職員対象 愛媛 併用/定員40 大学職員のための教職協働入 門 [藤本 正己] 【愛媛大学】	2403D 教員対象 香川 講義のみ/定員100 これだけは押さえておきたいオン ライン授業の基礎と実践 [小坂 有資・藤澤 修平] 【香川大学】	2403E 教員・職員対象 高知 GW中心/40名 学生支援に関わる学生対応 カウンセリング(入門編) [杉田 郁代] 【高知大学】
2日目 8月25日(木)	9:30~11:30 120分	2501A トッリーダーセミナー 愛媛 講義のみ/定員200 カリキュラムの編成 [中井 俊樹] 【愛媛大学】	2501B 職員対象 加盟校外 併用/定員70 教務担当者が知っておきたい 法令・制度と最新政策動向 [宮林 常崇] 【東京都立大学法人】	2501C 教員対象 徳島 加盟校外 併用/定員40 理工系基礎科目において 学生の学習を促す学習評価 [榊原 暢久・吉田 博] 【芝浦工業大学・徳島大学】	2501D 教員・職員対象 愛媛 併用/定員40 プロジェクト達成のための マネジメント手法 [丸山 智子] 【愛媛大学】	2501E 教員対象 愛媛 併用/定員40 Blended Learningで活用できる グループワークのアイデア [村田 晋也] 【愛媛大学】
	12:30~14:30 120分	2502A トッリーダーセミナー 加盟校外 講義のみ/定員200 これからの大学教育と 経営の在り方 〜生き残る大学となるために〜 [秦 敬治] 【岡山理科大学】	2502B 教員・職員対象 愛媛 併用/定員40 自立型人材となるための 「セルフ・エンパワーメント実践」 [阿部 光伸] 【愛媛大学】	2502C 教員対象 徳島 併用/定員40 テキストマイニング入門 [塩川 奈々美] 【徳島大学】	2502D 職員対象 愛媛 併用/定員40 中堅職員のための後輩指導 ー理論と実践方法ー [竹中 喜一] 【愛媛大学】	2502E 教員・職員対象 高知 講義のみ/定員200 PowerQuery for Excel を用いた 効率的なデータ処理 [高畑 真志] 【高知大学】
	15:15~17:15 120分	シンポジウム「個別最適化された教育・人材育成の実現」 講 師 : 秦 敬治(岡山理科大学副学長/教育推進機構長)、 小松川 浩(公立千歳科学技術大学理工学部情報システム工学科 教授)、 高橋 浩太郎(文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室課長補佐) コメンテーター : 中井 俊樹(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 教授) 進 行 : 仲道 雅輝(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長)				
	17:30~20:00 150分	情報交換会 (ポスターセッション「優秀ポスター賞」受賞者による発表を含む)				
3日目 8月26日(金)	9:30~11:30 120分	2601A 教員・職員対象 加盟校外 併用/定員40 事例で考える教職課程における 多様な履修相談対応 [小野 勝士] 【龍谷大学】	2601B 職員対象 加盟校外 講義のみ/定員100 パフォーマンス評価のための課 題の作り方 [飯尾 健] 【徳島大学】	2601C 教員対象 徳島 併用/定員40 大学教職員のための ZOOM百物語 [石井 知彦] 【香川大学】	2601D 教員・職員対象 香川 講義のみ/定員200 はじめての係マネジメント講座 〜係長1年目のTips〜 [吉岡 瞳] 【高知大学】	2601E 職員対象 高知 併用/定員40
	12:30~14:30 120分	2602A 教員・職員対象 加盟校外 併用/定員100 教学マネジメント入門ー学修者 本位で捉えなおす教育活動ー [山咲博昭・荒木俊博・岩野摩耶 白藤康成・堀佑二] 【広島市立大学・淑徳大学・山口大 学・京都産業大学・獨協大学】	2602B 教員・職員対象 加盟校外 併用/定員100 コロナ禍における障害学生への 合理的配慮と学修支援 [佐々木 銀河] 【筑波大学】	2602C 職員対象 加盟校外 講義のみ/定員40 若手職員向け超入門!研究者と 学術情報流通 [井上 昌彦] 【関西学院大学】	2602D 教員対象 香川 講義のみ/定員100 大人数のオンデマンドe- Learning授業を運用するためには [林 敏浩] 【香川大学】	2602E 職員対象 加盟校外 併用/定員70 やってみよう!ピア・サポート ー理論と実践の両面からー [佐々木 菜々] 【広島修道大学】
	15:15~17:15 120分	2603A 教員・職員対象 加盟校内 併用/定員40 事例から考える 教学IRデータの活用 [真鍋 亮] 【松山大学】	2603B 職員対象 加盟校外 併用/定員40 業務をつなぐ・広げる・ デザインする(若手職員対象) [橋本 規孝] 【学校法人立命館】	2603C 教員対象 愛媛 併用/定員32 学生の自律性を引き出す 授業設計 [仲道 雅輝] 【愛媛大学】	2603D 教員・職員対象 愛媛 併用/定員70 大学における教育の倫理ー学 生とのかわり方を省察するー [上月 翔太] 【愛媛大学】	2603E 教員・職員対象 愛媛 併用/定員40 地域連携担当者のための 合意形成術講座 [前田 真] 【愛媛大学】

SPODフォーラム2022シンポジウム実施要項（案）

1. 日 時 2022年8月25日（木） 15:15 ～ 17:15
2. 開催方法 Zoomウェビナー
3. タイトル 「個別最適化された教育・人材育成の実現」
（全体テーマ：「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」）
4. 講 師 秦 敬治（岡山理科大学 副学長／教育推進機構長）
小松川 浩（公立千歳科学技術大学 教授）
高橋 浩太郎（文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室 課長補佐）

（コメンテーター）中井 俊樹（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 教授）
（進行） 仲道 雅輝（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長）
5. 趣 旨

新型コロナウイルス感染症拡大抑止のための世界的な人的交流の制限は、社会経済活動を停滞させ、大学教育にもさまざまな影響を及ぼしてきました。大学教育では、対面授業中止による学習機会の喪失を防ぎ教育の質を保障するため、ICTを活用したオンライン授業を推進するとともに、SDGs、カーボンニュートラル、DX、ダイバーシティ等新たな考え方や技術を取り入れ、これらの課題に取り組んできました。今後も、新たな感染症の拡大、大規模災害等の危機の発生や人々が求める価値の変化により、大学が果たすべき役割も変化していくといえます。

SPOD フォーラム 2022 のシンポジウムでは、秦敬治氏、小松川浩氏、高橋浩太郎氏をお招きし、このような変革が進む社会をけん引し、グローバルな視点を持ち、地域を支える優秀な人材を育成するために、大学教育や大学教職員が担う役割とはどのようなものか、また、変革を支える教職員の能力開発について、多様な視点から意見を交わし、アフターコロナを見据えた革新時代における大学教育の姿、個別最適化による教育・人材育成のあり方について、参加者の方々とともに理解を深める機会としたいと思います。

オンラインによる開催となりますが、趣旨をご理解いただき、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

S P O D フォーラム 2 0 2 2 ポスターセッション・情報交換会 実施要項（案）

日 時：令和4年8月25日（木） 17：30～20：00

開催方法：Z o o m ミーティング（ブレイクアウトルームを用いた交流）

参 加 者：S P O D フォーラム 2 0 2 2 参加者

参 加 費：無料

プログラム案：

17：15

Z o o m オープン

・先にポスター発表者のみ入室

17：25

一般参加者入室

17：30～17：55 ポスターセッション

・プログラム案内：S P O D 事務局

・発表者ごとにルーム割り振り

・開始時には参加者をランダムで割り当て、その後、自由に移動

18：00

情報交換会開会

・司会：愛媛大学教育企画室（上月、藤本）

・開会挨拶：愛媛大学

・プログラム案内

・各ルーム紹介

（愛媛5、徳島2、香川2、高知2 計11ルームを予定）

18：15～18：40 テーマ別自由交流（担当：コア校教職員）

・参加者が自由にルーム選択、自由に移動

・参加者数に応じて、ルームの統合もあり

18：40～19：25 全体交流

・ゲームなど全体で交流できるもの

（この間、審査員3名と事務担当で優秀ポスター賞を協議。優秀者はポスター掲示期間中に行う参加者投票を元に決定）

・優秀ポスター賞3名の発表・表彰（賞状・記念品）

・優秀者3名によるポスター発表（各3分）

・全体講評

19：30～19：50 自由交流

・開始時には参加者をランダムで割り当て、その後、自由に移動

19:50 閉会
・閉会挨拶：愛媛大学
20:00 Z o o mクローズ

【テーマ別自由交流について】

- ・愛媛以外の各校から2名ずつ、ファシリテーターをお願いしたい。
- ・教員・職員どちらでも可。
- ・テーマはファシリテーターがあらかじめ設定し、参加者に事前に周知する。
- ・事前周知ポスターには、ファシリテーターの氏名、顔写真もしくはイラスト、テーマ、コメント等を記載予定。

「SPOD フォーラム 2022」ポスターセッション募集要項(案)

1. ポスターセッション概要

SPOD フォーラム参加者の FD・SD に関する実践的知識の共有化をはかることを目的に、ポスターセッションを開催します。

発表者が作成したポスターは、事前に SPOD ウェブサイトに公開します。フォーラム内で Zoom による質疑応答の時間を設けますので、8月25日(木)の17:30~17:55 は Zoom 上でのご対応をお願いします。

また、優秀ポスター賞を選出し、8月25日(木)の情報交換会の中で発表します。その際、受賞者にはポスターの概要をご紹介しますので、あらかじめご承知おきください。

2. 日時

- (1) ポスター公開期間 8月1日(月)~8月26日(金) (SPOD ウェブサイト)
- (2) 質疑応答 8月25日(木) 17:30~17:55 (Zoom)
- (3) 優秀ポスター賞発表、受賞者による概要説明
8月25日(木) 情報交換会内 (Zoom)

3. ポスター発表のトピック

学生の豊かな学びと成長を支援する FD・SD に関する実践的知識の共有化に資するという SPOD の趣旨に沿った内容を幅広く募集します。応募者多数の場合は、本年度のテーマ「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」に沿ったものを優先しますので、申込時にその旨図を入れてください。

4. ポスター発表規定等

(1) ポスターの公開について

SPOD ウェブサイトにアップします。ポスターは、PDF 形式で提出してください。

(2) Zoom による質疑応答及び情報交換会内での受賞者発表について

上記 PDF またはパワーポイント等を用いて、Zoom の画面共有により行ってください。

5. 申込方法等

(1) 申込受付期間

6月15日(水)正午 ~ 6月27日(月)正午

(2) 申込方法

・申込受付期間中に SPOD ウェブサイト(<https://www.spod.ehime-u.ac.jp>)に開設するポスターセッション申込フォームよりお申込みください。

・募集件数は 20 件程度とし、申込多数の場合は本年度のテーマに沿ったものを優先します。

・申込み後、受付可否についてご連絡いたします。発表者となった方は、ポスターを7月25日（月）までに SPOD 事務局 (spod@stu.ehime-u.ac.jp) まで提出してください。

・申込時には以下の項目を申込フォームからご入力いただきます。

- ① 発表代表者の氏名・フリガナ・所属・連絡先（メール及び電話）・情報交換会出欠
- ② 共同発表者の氏名・フリガナ・所属・連絡先（メール）・情報交換会出欠
- ③ 発表テーマ（サブタイトル含め 25 字以内）
- ④ 発表概要（400 字以内）

(3) その他のプログラムへの参加について

ポスターセッションにお申込みいただいた方も、SPOD フォーラムの他のプログラムへの参加申込みは SPOD ウェブサイト (<https://www.spod.ehime-u.ac.jp>) より別途行ってください。メールでの受付は行っておりませんのでご注意ください。SPOD 加盟校の教職員は6月下旬より、SPOD 加盟校以外の教職員は7月中旬より、お申し込みが可能です。なお、ポスターセッション発表代表者1名分のフォーラム参加費は無料です。共同発表者が他のプログラムに参加される場合、SPOD 加盟校外の方は有料です。

6. その他

・記録・広報用にスクリーンショット撮影、ホームページ等への掲載を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。

・質疑応答や優秀ポスター賞の発表等がありますので、発表代表者は必ず情報交換会にご参加ください。

「SPOD フォーラム 2022」ポスターセッションスケジュール

6月15日（水）～ 6月27日（月）	申込受付期間
6月28日（火）～ 7月1日（金）	発表者調整期間（発表の可否連絡期間）
7月25日（月）	ポスター提出メ切
8月1日（月）～ 8月26日（金）	ポスター公開期間
8月25日（木）	情報交換会（質疑応答、優秀ポスター賞発表）

＊お問合せ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局
（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

TEL:089-927-9154

E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

S P O Dフォーラム 2022 ポスターセッションにおける 「優秀ポスター賞」の取扱いについて

1. 優秀ポスター賞について

特に優れていると考えられるポスターに対し、「優秀ポスター賞」を授与する。

2. 選出件数

3 件程度

3. 審査員

- (1) 中井企画・実施統括者
- (2) 吉田FD専門部会長
- (3) 竹中SD専門部会長

4. 選出方法

参加者による投票及び審査員による審査により選出する

- (1) S P O Dフォーラム参加者は、特に優れていると考えられるポスターを3件選出し、S P O Dウェブサイト上の専用フォームから投票を行う。
- (2) 投票期間は、8月1日(月)のポスター公開日から質疑応答終了まで(8月25日(木)17時55分)とする。
- (3) S P O Dフォーラム主催校(愛媛大学)は、投票の集計を行い、審査員に報告する。
- (4) 各審査員は、投票の集計結果及び審査員による協議結果を踏まえ、優秀ポスター賞を選出する。なお、優秀ポスター賞には、順位を付さないものとする。

5. 表彰

- (1) 情報交換会において、優秀ポスター賞の発表及び表彰を行う。
- (2) 受賞者は、情報交換会においてポスターの概要の紹介を行う。

SPOD フォーラム 2022



変容する社会ニーズに応じた学びのあり方

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



SPODフォーラムは... 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様な質の高いFD/SDプログラム
ならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日 時	2022年8/24 (水) ▶ 26 (金)	オンライン (Zoom) 開催 ※一部除く
主 催	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) / 愛媛大学	
参加申込	SPOD加盟校の教職員限定受付 2022年6月27日(月)正午～7月 8日(金)正午 一般受付(SPOD加盟校の方も申込可) 2022年7月13日(水)正午～7月25日(月)正午 ※事前申込制 (先着順) https://www.spod.ehime-u.ac.jp 申込みはWEBから ※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。	
参加費	SPOD加盟校の教職員 無料	SPOD加盟校以外の教職員 10,000円

特徴 1	多彩な講師陣	先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、 職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。
特徴 2	職場で使える 実践型プログラム	オンラインでのグループワークを含む講義が数多く開催されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で 作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。
特徴 3	SDプログラムも 多数開講	SPODでは、FD同様にSDに力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に 関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。

ーオンライン情報交換会ー

参加者の皆さまの交流・ネットワークづくりのため、
「オンライン情報交換会@Zoom」を開催します。
開催前にはポスター・セッションも行います。

★日時
8月25日(木) 17:30～20:00
17:30～ ポスターセッション(質疑応答)
18:00～ 情報交換会

★参加費
無料

※SPODフォーラム2022のプログラム参加者のみ参加可能
情報交換会前半では、SPODの講師陣やスタッフが個別ブース
でお待ちしております。参加者は自由に移動し、交流することがで
きます。また、後半には、皆さままでお楽しみいただけるイベントを計
画しております。皆さまのご参加を、お待ちしております。

詳細はこちら



ーポスター・セッションー

オンラインによるポスター・セッションを開催します。
ポスターは事前にSPODウェブサイトで公開し、SPODフォー
ム内で、Zoomによるセッション(質疑応答)の時間を設けます。

★日時
公開期間 8月1日(月)～8月26日(金)
質疑応答 8月25日(木) 17:30～17:55
優秀ポスター賞発表、
受賞者による概要説明 8月25日(木) 情報交換会内
★ポスター発表規定
PDF形式で提出
★申込について
申込受付期間 6月15日(水) 正午～6月27日(月) 正午
申込方法 SPODウェブサイト

詳細はこちら



開催スケジュール

●申込み開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。<https://www.spod.ehime-u.ac.jp>

過去の資料等ははこちら



日時			A	B	C	D	E	
1日目 8月24日(水)	1	9:30 ～ 11:30	2401A 職員のための講師養成講座 一日常業務の遂行に活かすことも見据えてー 阿部光伸・藤本正己 (愛媛大学)	2401B FD担当者のためのFD企画講座 吉田 博(徳島大学) 仲道雅輝(愛媛大学) 塩川菜々美(徳島大学) 上月翔太(愛媛大学)	2401C オンライン授業でのアクティブラーニング 金西計英(徳島大学)	2401D ケースを通して考える中間管理職入門 小方直幸(香川大学) 野口里美(香川大学) 石原卓也(大分大学)	2401E ルーブリック評価入門ー考える, つくる, 活用するー 侯野秀典(高知大学)	
	2	12:30 ～ 14:30	ワーク・講義 40名	ワーク・講義 30名	2402C ケースで考える若手職員のための学生支援・学生対応 藤巻 晃(徳島文理大学)	2402D 実践!D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)推進 黒澤あずさ(香川大学)	2402E 小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン 侯野秀典(高知大学)	
	3	15:15 ～ 17:15	2403A 面談に役立つアカデミック・アドバイジングの手法(基礎編) 清水栄子(追手門学院大学) 小林忠資(岡山理科大学)	2403B 支援促す体験学習 高橋平徳(愛媛大学)	2403C 大学職員のための教職協働入門 藤本正己(愛媛大学)	2403D これだけは押さえておきたいオンライン授業の基礎と実践 小坂有資・藤澤修平(香川大学)	2403E 学生支援に関わる学生対応カウンセリング(入門編) 杉田郁代(高知大学)	
2日目 8月25日(木)	1	9:30 ～ 11:30	2501A カリキュラムの編成 中井俊樹(愛媛大学)	2501B 教務担当者が知っておきたい法令・制度と最新政策動向 宮林常崇(東京都立大学法人)	2501C 理工系基礎科目において学生の学習を促す学習評価 榊原暢久(芝浦工業大学) 吉田 博(徳島大学)	2501D プロジェクト達成のためのマネジメント手法 丸山智子(愛媛大学)	2501E Blended Learningで活用できるグループワークのアイデア 村田晋也(愛媛大学)	
	2	12:30 ～ 14:30	2502A これからの大学教育と経営の在り方ー生き残る大学となるためにー 秦 敬治(岡山理科大学)	2502B 自立型人材となるための「セルフ・エンパワメント実践」 阿部光伸(愛媛大学)	2502C テキストマイニング入門 塩川奈々美(徳島大学)	2502D 中堅職員のための後輩指導ー理論と実践方法ー 竹中喜一(愛媛大学)	2502E PowerQuery for Excelを用いた効率的なデータ処理 高畑貴志(高知大学)	
	3	15:15 ～ 17:15	シンポジウム 「個別最適化された教育・人材育成の実現」 講師：秦 敬治(岡山理科大学)、小松川 浩(公立千歳科学技術大学)、高橋 浩太郎(文部科学省高等教育局) コメンテーター：中井 俊樹(愛媛大学) 進行：仲道 雅輝(愛媛大学)					2503F
		17:30 ～ 20:00	情報交換会(ポスター・セッションを含む)					
3日目 8月26日(金)	1	9:30 ～ 11:30	2601A 教学マネジメント入門ー学修者本位で捉えなおす教育活動ー 山咲博昭(広島市立大学) 荒木俊博(淑徳大学) 岩野摩耶(山口大学) 白藤康成(京都産業大学) 堀 佑二(獨協大学)	2601B 事例で考える教職課程における多様な履修相談対応 小野勝士(龍谷大学)	2601C パフォーマンス評価のための課題の作り方 飯尾 健(徳島大学)	2601D 大学教職員のためのZOOM百物語 石井知彦(香川大学)	2601E はじめての係マネジメント講座ー係長1年目のTipsー 吉岡 瞳(高知大学)	
	2	12:30 ～ 14:30	ワーク・講義 40名	2602B コロナ禍における障害学生への合理的配慮と修学支援 佐々木銀河(筑波大学)	2602C 若手職員向け超入門！研究者と学術情報流通 井上昌彦(関西学院大学)	2602D 大人数のオンデマンドe-Learning授業を運用するためには 林 敏浩(香川大学)	2602E やってみよう！ピア・サポートー理論と実践の両面からー 佐々木菜々(広島修道大学)	
	3	15:15 ～ 17:15	2603A 事例から考える教学IRデータの活用 真鍋 亮(松山大学)	2603B 業務をつなぐ・広げる・デザインする(若手職員対象) 橋本規孝(学校法人立命館)	2603C 学生の自律性を引き出す授業設計 仲道雅輝(愛媛大学)	2603D 大学における教育の倫理ー学生とのかかわりを省察するー 上月翔太(愛媛大学)	2603E 地域連携担当者のための合意形成術講座 前田 真(愛媛大学)	

ワーク

主にグループワークやペアワーク等を中心としたプログラムです。

講義

主に講義を中心としたプログラムですが、グループワークやペアワーク等が含まれる場合もございます。

ワーク・講義

グループワークと講義を併用したプログラムです。

名

プログラム定員

SPODフォーラム2022アンケート

研修内容の充実と改善のため、率直なご意見をお聞かせください。
ご回答いただいた内容は、今後のSPOD事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の
目的で使用することはありません。



*必須

1. 受講したプログラムを選択してください。 *

選択



次へ

Google フォーム



SPODフォーラム2022アンケート



*必須

2. 参加者ご自身について

(1) 所属先 *

- ☐ ①大学
- ☐ ②短期大学
- ☐ ③高等専門学校
- ☐ ④その他

(2)

(1) で「④その他」と回答の方のみご回答ください。

回答を入力

(3) 所属先の設置者 *

- ☐ ①国（国立大学法人）
- ☐ ②地方自治体（公立大学法人を含む）
- ☐ ③学校法人
- ☐ ④その他

(4)

(3) で「④その他」と回答の方のみご回答ください。

回答を入力



(5) 所属先の所在地 *

- ☐ ①四国
- ☐ ②北海道
- ☐ ③東北
- ☐ ④関東
- ☐ ⑤中部
- ☐ ⑥近畿
- ☐ ⑦中国
- ☐ ⑧九州・沖縄
- ☐ ⑨その他

(6)

(5) で「④その他」と回答の方のみ、所属先の所在地についてご回答をお願いします。

回答を入力

(7) 職種 *

- ☐ ①教員
- ☐ ②職員
- ☐ ③その他

(8)

(7) で「③その他」と回答の方のみ、職種についてご回答をお願いします。

回答を入力

戻る

次へ



SPODフォーラム2022アンケート



*必須

3.この研修について

研修についてのご意見をお聞かせください。

(1) *

④ そう思う ③ どちらかとい
えばそう思う ② どちらかとい
えばそう思わな
い ① そう思わない

1. 研修目的や内
容についてある
程度知った上で
参加した

☐☐☐☐

2. 研修は自分の
業務に活かせる
内容だった

☐☐☐☐

3. 研修の到達
目標は明確に示
されていた

☐☐☐☐

4. 研修はわか
りやすい順序で
すすめられた

☐☐☐☐

5. 講師の言動
は学習意欲を高
めた

☐☐☐☐

6. 自分に活かせ
る知識やスキル
を身につけるこ
とができた

☐☐☐☐

7. 受講したこと
によって業務へ
の取り組み方が
改善されると思
う

☐☐☐☐

8. 研修内容は
満足できるもの
だった

☐☐☐☐

(2) この研修を受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

回答を入力

(3) この研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

回答を入力

戻る

送信

Google フォーム



2022

SPODフォーラム2021アンケートフォーム

SPODフォーラム2021へご参加いただき、ありがとうございました。

フォーラム全体について、率直なご意見をお聞かせください。

回答いただいた内容は、今後のSPOD事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

1. SPODフォーラムでの研修成果について

SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない

所属組織を越えて人脈を広げることができた

☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない

自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない
~~業務や教育に対する意識や考え方が変わった~~
☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない

業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった

☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している

☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している

☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない

今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい

☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない

2. 感想、ご意見、ご要望等

SPODフォーラムに参加して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

SPODフォーラムをよりよいものとするために改善点があれば、具体的にお書き下さい。また、開催日程や開催方法等についてご要望がございましたら、あわせてお書き下さい。

自由記述の2つ目に以下設問を挿入

「SPODフォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場でどのように活用していますか。具体的にお書き下さい。」

トル

SPODフォーラムで開講してほしい研修プログラムがあれば、具体的に内容をお書き下さい。

SPODの事業全般についてご意見やご要望があれば、自由にお書き下さい。

3. 参加者ご自身について

所属先1	☐ SPOD加盟校 ☐ SPOD加盟校外
所属先2	☐ 大学 ☐ 高等専門学校 ☐ 短期大学 ☐ その他
所属先の学生数 (※大学の場合は学部学生数)	☐ 10,000人以上 ☐ 1,000人以上5,000人未満 ☒ 該当なし ↑ 上記の【所属先2】で「その他」を選択された方は「該当なし」を選択してください
所属先の設置者	☐ 国(国立大学法人) ☐ 学校法人 ☐ 地方自治体(公立大学法人を含む) ☐ その他
所属先の所在地	北海道
職種	☐ 教員 ☐ その他 ☐ 職員
大学教職員等の経験年数	年 例:10
SPODフォーラムの参加は何回目ですか？	1回目
SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)	☐ 過去の参加者に参加をすすめられたため ☐ 上司に参加をすすめられたため ☐ 自分自身の能力開発のため ☐ 組織の課題を解決するヒントを得るため ☐ 組織を越えた人脈づくりのため ☐ FDやSDに関する情報収集のため ☐ その他
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？	☐ FDの実施担当者 ☐ SDの実施担当者 ☐ FDとSD両方の実施担当者 ☐ FDやSDの実施担当者ではない

確認画面へ

リセット

事業評価シート①

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の今後の事業推進に役立てるため、令和3年度SPOD実績報告書等をもとに御意見ををお願いします。

■総論

- 引き続きコロナ禍にもかかわらず、円滑なネットワーク運営が行われたことを高く評価したい。
- 全国トップクラスの大学教職員能力開発組織である SPOD は、主管校である愛媛大学ならびにコア校の徳島大学、香川大学、高知大学の関係教職員の方々の日々の活動によって運営されていることにも、敬意を表したい。

■各論

- SPOD フォーラムは私もシンポジウムに登壇させていただいたが、申込者 572 名と非常に多くの申込者を獲得した点で大成功であった。2 年のブランクがあっても、確実に日本の大学教職員の中に顧客層を固定化できていることの証左であろう。
- 円滑な運営は素晴らしかった。特にオンライン情報交換会は、対面と同様の交流ができたような印象を受けた。
- 昨年指摘させていただいた、ポストコロナ時代の研修の在り方については、いくつかの知見も読み取れるが、まとまった知見となっていないように思える。非常に重要なテーマだと思われるので、来年度も引き続き研究を継続していただき、SPOD からの発信に期待したい。
- 来年度もフルオンラインの予定とのことだが、一方で対面開催ニーズもあるのではないかと推測される。どのような議論があったのかが気になるところである。
- 新任教員研修については標準化がなされているのであれば、加盟校以外の機関にも呼びかけてのオンラインもしくはハイブリッド研修ができるのではないかとと思われる。それが可能になれば収入源にもなるように思われるが、その可能性はないだろうか。
- プレ FD について検討が始まっていることは新たな取り組みとして素晴らしい。SPOD 加盟校の場合、単独開催よりもメリットは大きいと思われる。プレ FD については、全国的にも共同開催を望む声もあり、他大学との連携についても検討してはどうか。
- ポストコロナ時代の大学間連携モデルについて、引き続き検討していただき、SPOD モデルの発信に期待したい。

事業評価シート②

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の今後の事業推進に役立てるため、令和3年度SPOD実績報告書等をもとに御意見ををお願いします。

■SPOD フォーラム 2021 について

- オンラインによる実施を念頭に、参加者が参加（視聴）申し込みしやすいようにプログラムが（体系的に）配置されていると感じた。また、各プログラムの実施形態、規模も明示されるなど、私自身も（参加プログラムの選択を含めて）参加者として非常に申し込みをしやすかった。募集段階から参加者目線に立った工夫は参加促進につながる大切な視点であり、評価できる。
- フォーラム初の全面オンライン開催ということから、プログラムの企画・準備から当日運営まで様々なご苦労があったと推察する。実施形態（2021 オンライン、2019 対面）が異なることから単純比較はできないが、フォーラム申込者数 572 名（延べ 1,753 名）がコロナ禍前 2019 年開催の同フォーラム申込者数 535 名（延べ 1,734 名）と増加していること、フォーラム参加申込者の 45.3%が 2 回目以上のリピーターであること、事後アンケートにおいて回答者の約 99%が「満足」と回答していること等から、これまでの実績を踏まえて SPOD フォーラムが参加者から支持される魅力あるフォーラム（プログラム）であると評価する。
- 運営面では、フォーラム内で行われた「オンデマンド・セッション」は、動画と掲示板アプリを用いて双方向のコミュニケーションを可能にする仕組みとなっており、従来会場で行っていたポスターセッションに近い環境でオンライン上でも十分に機能していると感じた。
また、オンライン情報交換会「SPOD 夜市」は、仮想空間で参加者が交流するというオンラインならではのプログラム（イベント）であり、大学 DX が進む中、メタバースの活用事例として参加者自らがその世界を体感できる場としても機能していた。
3 日間のフォーラムが全面オンライン開催であっても、参加者を飽きさせない工夫が随所に凝らされており、オンライン上で開催するフォーラム・シンポジウムのあり方（事例）を示す優れた取り組みであると評価する。
- 事後アンケートの項目「所属組織を超えて人脈を広げることができた」について、回答者の 63.3%が否定的な回答を行っている。対面時と同等の人的交流を図りづらいのがオンライン開催のデメリットの一つであり、課題の一つであると考え。しかし、コロナ禍後もオンラインを活用した様々な展開の可能性を考えると、限界はあるがオンライン上でも人脈を広げることができる仕掛けや工夫の検討も必要ではないか。（既に取り組んでおられる参加者連絡先リストの共有や Gather. Town の活用に加え、名刺交換アプリ等を活用する等）オンライン参加がその後の人的交流のきっかけの場にもなる仕組みを構築する等、課題解決に向けたオンライン・フォーラムのさらなる進化を期待したい。

■その他の取り組みについて

- SD 事業において、SPOD-SDC 資格取得者やゼミナール修了生が講師を務める実施手法は、プログラムの継続的な実施と受講者の能力開発の質を担保する優れた手法であると評価する。
次世代リーダー養成ゼミナール修了生が 68 名となり、必要な力を身につけた人材が毎年着実に増えており、SPOD-SDC 資格取得者認定者も 38 名となっている。同資格認定者が現時点ではネットワークのコア校に多いことから、より多くの SPOD 加盟校から認定者が出ることを期待したい。SPOD 加盟校全体の底上げにつながるものであると考える。

事業評価シート③

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の今後の事業推進に役立てるため、令和3年度SPOD実績報告書等をもとに御意見ををお願いします。

【はじめに】

まず、2020年度初頭から新型コロナウイルス感染症拡大が続き、大学教育そのものが脅かされ、学生、教職員、またその家族も脅威に晒されている中で、授業を守り、学生を守るために学びを続ける教職員を支援されている「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の皆さまに感謝を申し上げます。

特に、小職が参加した「SPOD フォーラム」においては、3日間にわたり32の研修プログラム、シンポジウム、情報交換会、オンデマンドセッションと対面と変わらないメニューで実施。572名（延べ1753名）が参加されました。これは、ZOOM機能他様々なツールを駆使し、かつ主管校の高知大学、ネットワークコア校、並びに講師の先生方が一体となって準備、運営されてこられた結果であり、コロナ前を超える実参加者数、満足度98.9%は特筆すべき数値であります。研修プログラムはZOOM、シンポジウムはZOOMウェビナー、交流会はGather Town、オンデマンドセッションではPadletを利用するなど、内容、参加人数、目的に合わせた機能を駆使して、それも用意周到な準備をされていたことがフォーラム成功の要因であったと判断できます。

また、2022年2月20日の大学行政管理学会中国四国地区研究会において、「After コロナのSD～コロナ禍でのオンライン研修の検証を通じて」をテーマにSPOD フォーラム他多くの事業がオンライン実施となり、様々な経験をされたSPOD関係者から報告が行われたことは、“何があっても学びをとめない”、“研修の機会を提供し続けること”、“コロナ禍であっても能動的でネットワークづくりに資することのできる研修を実施する”という心意気を全国に発信されたもので、大変意義深いものであると思われます。

【事業の概要・運営体制など】

2021年度には新しく「せとうち観光専門職短期大学」が加わり四国地区の高等教育機関35校が加盟している。18歳人口が減少する中で、着実に加盟大学が増えている。また、今年度はコロナ禍にも関わらず、オンラインツールを駆使して会議、研修会を実施、2019年度に匹敵する事業を展開しており、学びの場を継続して提供されたことは称賛に値する。

【令和3年度事業の総括】

令和2年度はコロナ禍の中、既存の研修会ができなくなったりするなど、FD・SD活動が停滞したが、令和3年度には、多くの事業でオンライン開催とし、以下の通りの実績となっている。

- ① SPOD フォーラムは8月25日から27日の3日間で開催。32の研修プログラムに加え、シンポジウム、情報交換会、オンデマンドセッションと対面と変わらないメニューで実施。572名（延べ1753名）が参加。
- ② SPOD 内講師派遣はオンラインでの開催が多くあったが、26法人に12名の講師が派遣され、対面でも216名、オンラインでは793名合計で1009名が参加。
- ③ FD/SDに関する調査研究は「コロナ禍においてオンラインで実施したSD研修に関する調査研究」「研修の効果測定に関する調査研究」の2つを実施。
- ④ 情報提供サービスは研修プログラムガイド、活動報告書の発刊の他、ホームページの更新、メルマガの発行など定期的に行っている。
- ⑤ FD事業もFD担当者研修会、新任教員研修会、ティーチングポートフォリオ研修を実施
- ⑥ SD事業については、大学人・社会人としての基礎力養成プログラムとして新任職員からレベ

ルⅠ・Ⅱ・Ⅲ（176名、52大学、満足度96.7%）を実施、次世代リーダー養成ゼミナールは昨年度は中止となっていたが、10期生、11期生合計9名で実施された。また、SD講師の養成としてSPOD-SDCの認定も継続して実施している。

- ⑦ 他FD・SD共通、プレFDプログラムとして、43講座が実施され、対面75名（22大学）、遠隔852名（159大学）、合計927名となっている。

以上、今年度は計画されていた内容をオンライン中心ではあったが、全て実施されたことは、NEW NOMALな時代にふさわしい研修会の在り方について、大きく方向性を示すものであったと判断できる。

【令和2年度事業評価シートから】

評価委員からは引き続きのコロナ禍の大変厳しい状況の中で、オンラインについての指摘が多く、そのことについて工夫を凝らしての対応が見られた。

オンライン授業に特化したFD「すぐ使える90分セミナー」など、時節に照らしたFD研修会の開催を実施するなど、きめ細やかな対応が行われていたことなど評価できる。

プレFDについては、小職が所属するコンソーシアムにおいても、共同開講や連携を提案しているが、現実的には交流が難しい状況であることも踏まえると、今後も実施に向けた研究、連携が必要であると思われる。

【今後の課題について】

今後は、オンライン研修の導入によって、SPODフォーラムを筆頭に、参加者が北は北海道から南は沖縄までと日本全国からの参加が容易になり、参加者の増も見込まれ、経費・予算措置でも改革が必要であると思われる。さらに次年度は、ポストコロナを睨み、新しい形の教職員研修を目指すための1年間となる。事業内容には変わりはないが、実施方法、研修内容の変化を期待したい。

目に見える課題としては、研修会での垣根を超えた人脈づくりという点では、満足度の評価が低いこともあり、オンライン研修での困難さが伺える結果となっている。「Gather Town」を取り入れたSPOD夜市の開催など工夫を凝らすことの他、参加者自身のICTへの習熟度も必要ではないかと感じている。

SD関連では、組織運営と合わせて、人材の育成が大きなキーワードとなっており、ポストコロナを見据えて対面でも遠隔でも対応可能な、ICT能力も持ち合わせたコーディネーター、講師の養成が急務であると考えられる。

その中でも特に、昨年度課題に挙げたアドミニストレーター養成機関としての機能も持てるように、現在進行中の日本高等教育開発協会の資格認定に期待したい。

以 上

令和3年度SPOD事業評価委員会委員による評価結果及び 今後の対応について（案）

■令和3年度事業評価委員会委員による評価について

「令和3年度SPOD事業の評価について」

【趣旨】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）」の事業運営に対し、令和3年度SPOD実績報告書等をもとに、各SPOD事業評価委員会委員から個別の内容について意見をいただき、今後の事業推進に役立てる。

■令和3年度事業評価委員会からの指摘事項のポイント（案）

1. 共通事項

【指摘事項】

- ・昨年指摘させていただいた、ポストコロナ時代の研修の在り方については、いくつかの知見も読み取れるが、まとまった知見となっていないように思える。非常に重要なテーマだと思われるので、来年度も引き続き研究を継続していただき、SPODからの発信に期待したい。
- ・SPODフォーラムは、来年度もフルオンラインの予定とのことだが、一方で対面開催ニーズもあるのではないかと推測される。どのような議論があったのかが気になるところである。
- ・次年度は、ポストコロナを睨み、新しい形の教職員研修を目指すための1年間となる。事業内容には変わりはないが、実施方法、研修内容の変化を期待したい。

【対応】

【対応予定】 今年度のSPODフォーラムはオンラインで開催するが、その他の研修は、可能な限り対面で実施していく予定である。令和4年度～9年度のSPOD将来構想にも「対面の特徴を活かした学習や交流の機会を提供する」ことを掲げ、取り組んでいる。

一方でオンライン研修のニーズも感じており、ポストコロナを見据え、新しい研修の在り方を引き続き検討していく。具体的には、一部研修のオンデマンド化、それらを用いたハイブリッド型研修の実施等を進める予定である。

【指摘事項】

- ・研修会での垣根を超えた人脈づくりという点では、満足度の評価が低いこともあり、オンライン研修での困難さが伺える結果となっている。「Gather Town」を取り入れたSPOD夜市の開催など工夫を凝らすことの他、参加者自身のICTへの習熟度も必要ではないかと感じている。
- ・事後アンケートの項目「所属組織を超えて人脈を広げることができた」について、回答者の63.3%が否定的な回答を行っている。対面時と同等の人的交流を図りづらいのがオンライン開催のデメリットの一つであり、課題の一つであると考え。しかし、コロナ禍後もオンラインを活用した様々な展開の可能性を考えると、限界はあるがオンライン上でも人脈を広げることができる仕掛けや工夫の検討も必要ではないか。（既に取り組んでおられる参加者連絡先リストの共有やGather Townの活用に加え、名刺交換アプリ等を活用する等）オンライン参加がその後の人的交流のきっかけの場にもなる仕組みを構築する等、課題解決に向けたオンライン・フォーラムのさらなる進化を期待したい。

【対応】

【対応予定】 オンライン研修における人的交流に対する満足度が低いことは課題であり、SPODの目的のひとつである「加盟校間の人的交流・ネットワークづくり」を図るためにも、改善が必要だ

と認識している。

今年度のSPODフォーラムでも、昨年度とは異なった形式ではあるが、オンライン情報交換会を実施する。また、オンラインでのポスターセッションも実施し、発表者と参加者の交流の機会も提供する。フォーラム後には、当日の参加者の様子や事後アンケート結果を分析し、今後のオンライン交流会の在り方を積極的に検討していく。

2. F D

【指摘事項】

- ・プレFDについて検討が始まっていることは新たな取り組みとして素晴らしい。SPOD加盟校の場合、単独開催よりもメリットは大きいと思われる。プレFDについては、全国的にも共同開催を望む声もあり、他大学との連携についても検討してはどうか。
- ・プレFDについては、小職が所属するコンソーシアムにおいても、共同開講や連携を提案しているが、現実的には交流が難しい状況であることも踏まえると、今後も実施に向けた研究、連携が必要であると思われる。

【対応】

【対応予定】 大学院生を対象としたプレFD開発については、必要性があると認識し準備を進めている。令和4年度～9年度のSPOD将来構想におけるFD部門の方針にも掲げ、大学院設置基準の改正に伴う取組として、プログラムの共同開発を進める予定である。

【指摘事項】

- ・新任教員研修については標準化がなされているのであれば、加盟校以外の機関にも呼びかけてのオンラインもしくはハイブリッド研修ができるのではないかとと思われる。それが可能になれば収入源にもなるように思われるが、その可能性はないだろうか。

【対応】

【対応予定】 新任教員研修は各コア校が主催するプログラムのどれを受講しても同様の効果を得られるよう、SPOD内でプログラムを標準化している。また、加盟校外からの参加も可能としており、実際に加盟校外からの参加も少数ながらある。今後も加盟校内外からの参加者増を図るため、情報発信等の広報のあり方も含め検討していく。

3. S D

【指摘事項】

- ・SD関連では、組織運営と合わせて、人材の育成が大きなキーワードとなっており、ポストコロナを見据えて対面でも遠隔でも対応可能な、ICT能力も持ち合わせたコーディネーター、講師の養成が急務であると考えられる。

【対応】

【対応予定】 オンライン研修では、個人的に知識や経験が豊富な講師あるいはホストを担当する事務局職員の力量に頼らざるをえないところが多かったことから、オンライン研修に必要なICT能力の底上げの必要性は認識している。今年度のSPODフォーラムにおいても、昨年度同様コア校がそれぞれホストを担当することとしている。それに加えて、「職員のための講師養成研修」のような研修のトータルコーディネートを行う能力開発の機会をはじめ、オンライン授業の設計やミーティングツールの使い方などに関する研修を行うことにより、SPOD全体としてのオンライン研修におけるICT能力向上を図る。この他、愛媛大学では「遠隔授業でのアクティブラーニング」などの動画教材を公開しているが、こうした教材を充実させることで、さらなるICT能力向上の機会提供に努めていきたい。

4. 組織運営

【指摘事項】

・ 今後は、オンライン研修の導入によって、SPODフォーラムを筆頭に、参加者が北は北海道から南は沖縄までと日本全国からの参加が容易になり、参加者の増も見込まれ、経費・予算措置でも改革が必要であると思われる。

【対応】

【対応予定】 SPODフォーラムについて、過去3年間（2018年、2019年、2021年 ※2020年は開催なし）の参加人数は増加しているが（463→535→572）、四国外からの参加者の割合はコロナ禍前と比較しても大きな変化は見られず（43.6%→42.1%→35.0%）、以前から、全国から一定数の参加があったことがわかる。SPODとしては、加盟校内の参加者増を図ることが第一の目標ではあるが、オンライン開催の利点を活かし、全国からの参加者を増やすことも必要であると考えている。そのため、今年度は昨年度よりコマ数を増やし、さらに1コマの定員も増やすプログラムとした。

その他の研修については、多くを対面で行うため、コロナ禍の現時点で加盟校外からの参加者増を見込むことは難しいと考えているが、アフターコロナを念頭に、広報のあり方を検討していく。

なお、オンライン研修の実施により、旅費等の事務的経費が減少したため、加盟校から徴収しているネットワーク年会費は減額を行っている。今後の経費・予算措置においては、オンライン研修を実施してきたこの2年間及び対面とオンライン両方を実施する今年度の状況を基に検討し、必要な改革を行っていく。